

主 題：救い主からの大命令

聖書箇所：マルコの福音書 16章15－20節

イエス・キリストによって救われた者は、クリスチャンとしてこの世にあってどれほどの影響を与えているのでしょうか？ 前回、私たちはイエス・キリストの復活を見ましたが、続いてその事実と、イエスが私たち信じる者に与えられた命令について、学んでゆきましょう。

A. イエスの顕現（前回の続き）と昇天 15-19 節

- (1) マグダラのマリヤ (2) 他の女性たち (3) ペテロ (4) エマオ途上の弟子たち
 (5) 弟子たち（トマスがいない） (6) 弟子たち（トマスがいた） ⇒ここまで前回見ました。

(7) 弟子たち 7名（ガリラヤ）

ヨハネ 21：1-25「この後、イエスはテベリヤの湖畔で、もう一度ご自分を弟子たちに現わされた。その現わされた次第はこうであった。シモン・ペテロ、デドモと呼ばれるトマス、ガリラヤのカナのナタナエル、ゼバダイの子たち、ほかにふたりの弟子がいっしょにいた。シモン・ペテロが彼らに言った。「私は漁に行く。」彼らは言った。「私たちもいっしょに行きましょう。」彼らは出かけて、小舟に乗り込んだ。しかし、その夜は何もとれなかった。夜が明けそめたとき、イエスは岸べに立たれた。けれども弟子たちには、それがイエスであることがわからなかった。イエスは彼らに言われた。「子どもたちよ。食べる物がありませんね。」彼らは答えた。「はい。ありません。」イエスは彼らに言われた。「舟の右側に網をおろしなさい。そうすれば、とれます。」そこで、彼らは網をおろした。すると、おびただしい魚のために、網を引き上げることができなかった。そこで、イエスの愛されたあの弟子がペテロに言った。「主です。」すると、シモン・ペテロは、主であると聞いて、裸だったのので、上着をまとって、湖に飛び込んだ。21:8 しかし、ほかの弟子たちは、魚の満ちたその網を引いて、小舟でやって来た。陸地から遠くなく、百メートル足らずの距離だったからである。こうして彼らが陸地に上がったとき、そこに炭火とその上に載せた魚と、パンがあるのを見た。イエスは彼らに言われた。「あなたがたの今とった魚を幾匹か持って来なさい。」シモン・ペテロは舟に上がって、網を陸地に引き上げた。それは百五十三匹の大きな魚でいっぱいであった。それほど多かったけれども、網は破れなかった。イエスは彼らに言われた。「さあ来て、朝の食事をしなさい。」弟子たちは主であることを知っていたので、だれも「あなたはどなたですか。」とあえて尋ねる者はいなかった。イエスは来て、パンを取り、彼らにお与えになった。また、魚も同じようにされた。イエスが、死人の中からよみがえってから、弟子たちにご自分を現わされたのは、すでにこれで三度目である。彼らが食事を済ませたとき、イエスはシモン・ペテロに言われた。「ヨハネの子シモン。あなたは、この人たち以上に、わたしを愛しますか。」ペテロはイエスに言った。「はい。主よ。私があなたを愛することは、あなたがご存じです。」イエスは彼に言われた。「わたしの小羊を飼いなさい。」イエスは再び彼に言われた。「ヨハネの子シモン。あなたはわたしを愛しますか。」ペテロはイエスに言った。「はい。主よ。私があなたを愛することは、あなたがご存じです。」イエスは彼に言われた。「わたしの羊を牧しなさい。」イエスは三度ペテロに言われた。「ヨハネの子シモン。あなたはわたしを愛しますか。」ペテロは、イエスが三度「あなたはわたしを愛しますか。」と言われたので、心を痛めてイエスに言った。「主よ。あなたはいっさいのことをご存じです。あなたは、私があなたを愛することを知っておいでになります。」イエスは彼に言われた。「わたしの羊を飼いなさい。まことに、まことに、あなたに告げます。あなたは若かった時には、自分で帯を締めて、自分の歩きたい所を歩きました。しかし年をとると、あなたは自分の手を伸ばし、ほかの人があなたに帯をさせて、あなたの行きたくない所に連れて行きます。」これは、ペテロがどのような死に方をして、神の栄光を現わすかを示して、言われたことであった。こうお話しになってから、ペテロに言われた。「わたしに従いなさい。」ペテロは振り向いて、イエスが愛された弟子があとについて来るのを見た。この弟子はあの晩餐のとき、イエスの右側にいて、「主よ。あなたを裏切る者はだれですか。」と言った者である。ペテロは彼を見て、イエスに言った。「主よ。この人はどうですか。」イエスはペテロに言われた。「わたしの来るまで彼が生きながらえるのをわたしが望むとしても、それがあなたに何のかかわりがありますか。あなたは、わたしに従いなさい。」

そこで、その弟子は死なないという話が兄弟たちの間に行き渡った。しかし、イエスはペテロに、その弟子が死なないと言われたのではなく、「わたしの来るまで彼が生きながらえるのをわたしが望むとしても、

それがあなたに何のかかわりがありますか。」と言われたのである。これらのことについてあかしした者、またこれらのことを書いた者は、その弟子である。そして、私たちは、彼のあかしが真実であることを、知っている。イエスが行なわれたことは、ほかにもたくさんあるが、もしそれらをいちいち書きしるすなら、世界も、書かれた書物を入れることができまい、と私は思う。

(8)弟子たち (ガリラヤ)

マタイ 28:16-20「しかし、十一人の弟子たちは、ガリラヤに行って、イエスの指示された山に登った。そして、イエスにお会いしたとき、彼らは礼拝した。しかし、ある者は疑った。イエスは近づいて来て、彼らにこう言われた。「わたしには天においても、地においても、いっさいの権威が与えられています。それゆえ、あなたがたは行って、あらゆる国の人々を弟子とせよ。そして、父、子、聖霊の御名によってバプテスマを受け、また、わたしがあなたがたに命じておいたすべてのことを守るように、彼らを教えなさい。見よ。わたしは、世の終わりまで、いつも、あなたがたとともにいます。」

1コリント 15:6「その後、キリストは五百人以上の兄弟たちに同時に現われました。…」

(9)ヤコブ

1コリント 15:7「その後、キリストはヤコブに現われ、それから使徒たち全部に現われました。」

(10)弟子たち (エルサレム)

ルカ 24:44-49「さて、そこでイエスは言われた。「わたしがまだあなたがたといっしょにいたころ、あなたがたに話したことばはこうです。わたしについてモーセの律法と預言者と詩篇とに書いてあることは、必ず全部成就するということでした。」そこで、イエスは、聖書を悟らせるために彼らの心を開いて、

こう言われた。「次のように書いてあります。キリストは苦しみを受け、三日目に死人の中からよみがえり、その名によって、罪の赦しを得させる悔い改めが、エルサレムから始まってあらゆる国の人々に宣べ伝えられる。あなたがたは、これらのことの証人です。さあ、わたしは、わたしの父の約束して下さったものをあなたがたに送ります。あなたがたは、いと高き所から力を着せられるまでは、都にとどまっていなさい。」

使徒 1:3-8「イエスは苦しみを受けた後、四十日の間、彼らに現われて、神の国のことを語り、数多くの確かな証拠をもって、ご自分が生きていることを使徒たちに示された。彼らといっしょにいるとき、イエスは彼らにこう命じられた。「エルサレムを離れないで、わたしから聞いた父の約束を待ちなさい。ヨハネは水でバプテスマを授けたが、もう間もなく、あなたがたは聖霊のバプテスマを受けるからです。」そこで、彼らは、いっしょに集まったとき、イエスにこう尋ねた。「主よ。今こそ、イスラエルのために国を再興して下さるのですか。」イエスは言われた。「いつか、どんなときとかいうことは、あなたがたは知らなくてもよいのです。それは、父がご自分の権威をもってお定めになっています。しかし、聖霊があなたがたの上に臨まれるとき、あなたがたは力を受けます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリヤの全土、および地の果てにまで、わたしの証人となります。」

― イエスの昇天 マルコ 16:19「主イエスは、彼らにこう話されて後、天に上げられて神の右の座に着かれた。」

B. イエスの命令 15-18 節

1. その内容 15 節

○全世界に出てゆきなさい

今いる所から出て行きなさい、というのです。これはイエスご自身の確信を現わすことばです。弟子たちは命じられたことを実践する、という確信です。自分の救いだけに満足しないで、と言われます。

○福音を宣べ伝えなさい

この「宣べ伝える」もイエスの確信を示します。この責任はイエスを信じたもの全てが負うものであるというのです。使徒伝令として伝えるのです。1コリント 1:23「しかし、私たちは十字架につけられたキリストを宣べ伝えるのです。…」、宣べ伝える福音とは何でしょう？パウロは1コリント 15:2-5でこのように言います。「兄弟たち。私は今、あなたがたに福音を知らせましょう。これは、私があなたがたに宣べ伝えたもので、あなたがたが受け入れ、また、それによって立っている福音です。また、もしあなたがたがよく考えもしないで信じたのでないなら、私の宣べ伝えたこの福音のことばをしっかりと保っていれば、この福音によって救われるのです。私があなたがたに最も大切なこととして伝えたのは、

私も受けたことであって、次のことです。キリストは、聖書の示すとおり、私たちの罪のために死なれたこと、また、葬られたこと、また、聖書に従って三日目によみがえられたこと、また、ケパに現われ、それから十二弟子に現われたことです。これがパウロが伝えたい福音なのです。イエスこそが救世主である、というメッセージです。

神があなたを救い、今日生かしておられる理由は何でしょう？

それは福音を宣べ伝えるためです。この地上に置かれているのは、この救いのメッセージを語り伝えるためなのです。使徒 10 : 39, 40 「私たちは、イエスがユダヤ人の地とエルサレムとで行なわれたすべてのことの証人です。人々はこの方を木にかけて殺しました。しかし、神はこのイエスを三日目によみがえらせ、現われさせてくださいました。」 また、同じ使徒 1 : 8 「しかし、聖霊があなたがたの上に臨まれるとき、あなたがたは力を受けます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリヤの全土、および地の果てにまで、わたしの証人となります。」

かつて、多くの宣教師を世界中に送り出したイギリスでは今、自国のために宣教師を必要としています。アメリカでもそうです。これが現状です。しかし、神の働きは後退してはいません。神のわざは着実になされています。アフリカのニジェールは文盲率の高いイスラム教国ですが、宣教師の努力によってその実が与えられています。あのロシアでも「神について知りたい」と多くの人々が聖書に関心をもち、罪を認めイエスを救い主と受け入れ悔い改めている人がいるのです。彼らは宣教師を必要としているのです。福音を携えて出て行くこと、これが使命だとして、今も多くの献身的な宣教師が遣わされているのです。

ヨハネ 17 : 18 「あなたがわたしを世に遣わされたように、わたしも彼らを世に遣わしました。」、ヨハネ 20 : 21 「イエスはもう一度、彼らに言われた。「平安があなたがたにあるように。父がわたしを遣わしたように、わたしもあなたがたを遣わします。」。神は私を今ここに遣わしておられます。救いのメッセージを伝えてゆくこと、そして、神に従順に従ってゆく人々を神は祝して用いておられるのです。

2. その結果 16-18 節

○救われるための条件 16 節

「信じて」とあります。信仰が救いの条件です。そして、バプテスマを受けるのです。バプテスマを受けることが救われるための条件ではありません。これは信仰を公に表明するのです。この「信じてバプテスマを受ける者は」のギリシャ語の文型をみると、「信じる」の前に冠詞があり、次の「バプテスマを受ける」を「そして」でつないでいます。この文型は最初の分詞をあとの分詞が説明・補足するのです。次の「信じない者は罪に定められます」も同様です。「救われます」は単数ですから、救いというのは一人一人のものなのです。

○救われた証拠 17-18 節

17, 18 節に書かれてあることは、弟子たちに与えられたもので、事実このようなことが起こりました。これらの「しるし」は初代教会の人々に与えられた特別の力です。聖書が完成する前に必要なことだったのです。

3. イエスの働き 19 節

イエスはよみがえられてから、40 日間弟子たちに現われて後、オリーブ山から昇天されました。そして、神の右の座に着かれています。この座は権威と名誉の座です。天においてイエスは、私たち信じるすべての者のために大祭司としての働きをされていることが、ヘブル人への手紙 7-10 章に書かれています。

天におけるイエスの働きとは、

(1) 信じる者のためにとりなしをしてくださる。ヘブル 7 : 25 「したがって、ご自分によって神に近づく人々を、完全に救うことができになります。キリストはいつも生きていて、彼らのために、とりなしをしておられるからです。」

(2) 弁護してくださる。1 ヨハネ 2 : 1 「私の子どもたち。私がこれらのことを書き送るのは、あなたがたが罪を犯さないようになるためです。もしだれかが罪を犯したなら、私たちには、御父の御前で弁護してくださる方があります。それは、義なるイエス・キリストです。」

(3) みこころを行うように力づけてくださる。ヘブル 13 : 20, 21 「永遠の契約の血による羊の大牧者、私たちの主イエスを死者の中から導き出された平和の神が、イエス・キリストにより、御前でみこころにかなうことを私たちのうちに行ない、あなたがたがみこころを行なうことができるために、すべての良

いことについて、あなたがたを完全な者としてくださいますように。どうか、キリストに栄光が世々限りなくありますように。」

(4) 信者を助け用いてくださる。マタイ 10:19 「人々があなたがたを引き渡したとき、どのように話そうか、何を話そうかと心配するには及びません。話すべきことは、そのとき示されるからです。」

C. 弟子たちの応答 20 節

出てゆきました。

福音を宣べ伝えました。

「主は彼らとともに働き、みことばに伴うしるしをもって、みことばを確かなものとされた。」
彼らは従順に神に従っていったのです。それは人々に大きな影響を与えたのです。

以上をもって、マルコの福音書の講解メッセージは終わりました。